

SCSKグループは、成長戦略としてサステナビリティ経営を推進しています。経営理念を事業の起点として、マテリアリティの実現に取り組むことで、事業を通じた社会課題の解決や新たな価値の創出を図り、「2030年 共創ITカンパニー」を目指します。

2 事業活動

- コンサルティング
- ITマネジメント
- システム開発
- ITハード・ソフト販売
- 検証サービス
- BPO
- ITインフラ構築

Toward2030 第二期
中期経営計画
(FY2023-FY2025)

P19

P33

ビジネスに必要なITサービスからBPOに至るまで、フルラインアップで提供



社会の課題を解決し、
持続的な事業成長を目指す
マテリアリティ

P25

共創の企業文化

顧客との共創 社会との共創

夢ある未来に共感しあえる
ステークホルダーとの共創を推進

サステナブルな社会の
実現への貢献

3 価値の創出

社会価値

- 豊かな未来社会
- 安心・安全な社会
- いきいきと活躍できる社会

経済価値

- 収益の拡大
- 資本効率の向上
- 株主価値の増大

(参考)アウトプット:P43/経営指標(財務・非財務)の進捗サマリー

事業を通じた社会課題の解決や
新たな価値の創出を継続的に実現



持続的な成長を支える基盤としての
マテリアリティ

P25

経営理念

私たちの使命

夢ある未来を、共に創る
お客様からの信頼を基に、
共に新たな価値を創造し、
夢ある未来を拓きます。

P1

1 経営資源 (インプット) P23

財務資本

持続的な成長を支える
堅固な財務基盤

知的資本

社会や顧客の課題を
解決する技術力

自然資本

地球環境に貢献する
事業活動

社会関係資本

優良な顧客基盤と
健全なバリューチェーン

人的資本

多様なスキル・経験を持つプロフェッショナル人材
新たな価値を社会に提供し続けるWell-Being経営

事業活動を支える5つの資本を利活用することで、
ダイナミックな事業を展開

〈SCSKの

2030年 共創
ITの、つぎの、

目指す姿)

ITカンパニー
幸せへ。 P29

経営資源の
充実・拡大
(アウトカム)

SCSKグループを取り巻く外部環境

技術のパラダイムシフト

社会課題・社会トレンド

SCSKは社会の変化やニーズを捉え、社会課題の解決に貢献することで成長してきました。
その歩みの中で、今日の強みの源泉となるさまざまな資本を積み上げてきました。
これら資本の戦略的な活用・増大を図り、さらなる価値創造を追求していきます。

財務資本

持続的な成長を支える堅固な財務基盤

- ROE **15.2%**
- 発行体格付 **A+**
(株)日本格付研究所による長期発行体格付)
- 成長投資総額^{※1}
1,000億円/3年(中期経営計画 成長投資計画値)

知的資本

社会や顧客の課題を解決する技術力

- 課題解決に貢献する多様なサービスメニュー^{※1}
約**500**超(製品・サービス数合計)
- SCSK独自の開発プラットフォーム **S-Cred+**
- SCSK開発標準 **SE+**
- R&D・事業開発投資額^{※1}
200億~300億円/3年(中期経営計画 成長投資計画値)

自然資本

地球環境に貢献する事業活動

- 再生可能エネルギー比率^{※1}
55.1%
- TCFD提言に基づく情報開示
- エネルギー効率の高いデータセンター

社会関係資本

優良な顧客基盤と健全なバリューチェーン

- 顧客基盤 約**10,000**社
- 都市圏パートナー企業社数^{※1}
約**630**社(従事者 約**13,000**名)
- Prime Business Partner^{※2}との連携
- 国内外に広がる強固な事業ネットワーク



人的資本

多様なスキル・経験を持つプロフェッショナル人材
新たな価値を社会に提供し続けるWell-Being経営

- 連結従業員数 **20,252**名
- 主なプロフェッショナル人材^{※3}
専門性認定者数 **6,109**名
高度PM人材 **219**名
- コンサル・ビジネスデザイン人材 **523**名
先進技術者育成研修修了者 **2,349**名

- 平均年間研修時間^{※3} **69**時間/人
- 平均月間残業時間^{※3} **22**時間
- 有給休暇取得率^{※3} **89.4%**
- エンゲージメント^{※3}
「働きやすい会社」ポジティブ回答 **89.7%**
「やりがいのある会社」ポジティブ回答 **79.1%**

- 人財投資額^{※1}
100億~200億円/3年(中期経営計画 成長投資計画値)

● 人事担当役員メッセージ

[P69](#)

※1 ネットワシシステムズ(株)を含まず
※2 2026年3月期よりCoreパートナーからPrime Business Partnerへ名称変更
※3 SCSK単体 ※2025年3月期実績

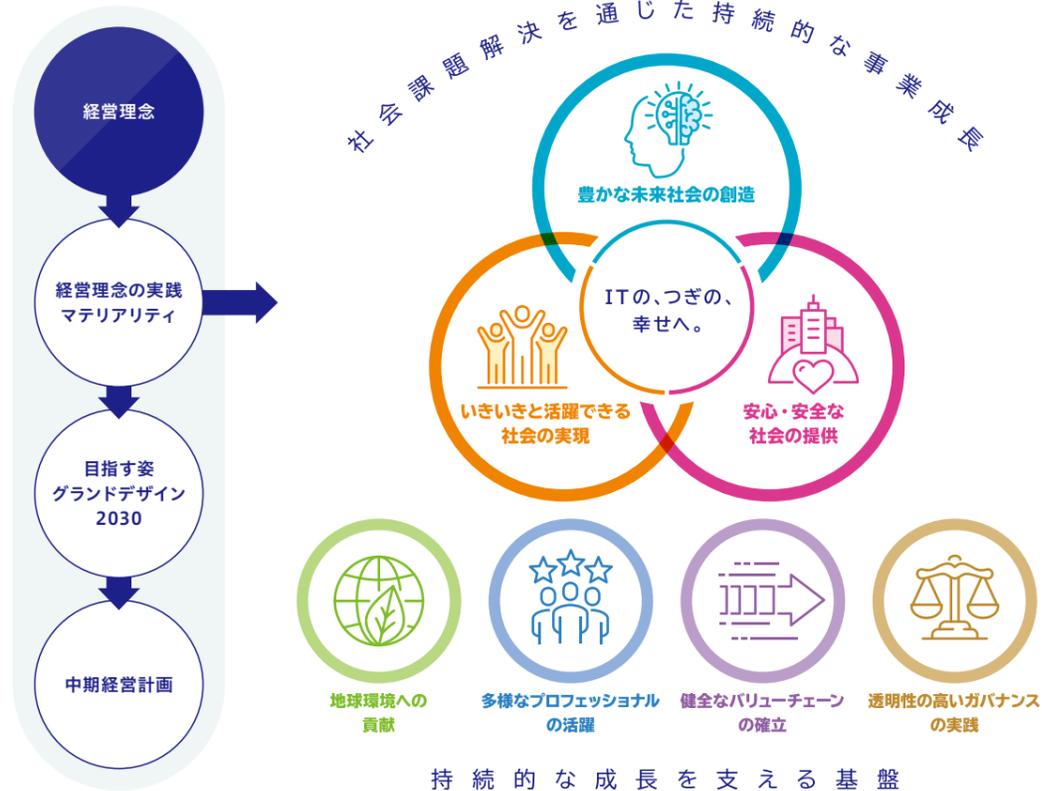
グループの成長戦略としてのサステナビリティ経営

SCSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の下、成長戦略としてサステナビリティ経営を推進しています。

事業活動が環境・社会に与える影響を継続的に評価し、その改善を進めることに加え、脱炭素や循環型社会の実現に向けた事業環境の変化をチャンスと捉え、我々のコアコンピタンスを活用した新たな事業機会を獲得し、社会とともに持続的に成長する、社会が必要とする経済価値と社会価値の創出をより一層加速してまいります。

SCSKグループのマテリアリティ

近年、気候変動問題への対応や顕在化された地政学リスク、AI技術の急速な発展などにより、急激な社会環境変化が生じ、社会課題の複雑化・深刻化が進んでいます。企業には業種・業界を問わず、事業を通じて社会課題を解決し、社会とともに持続的に成長する経営が求められています。SCSKグループでは「夢ある未来を、共に創る」という経営理念の実践に向けて、社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題をマテリアリティとして策定しました。



持続的な成長を支える基盤

社会課題解決を通じた持続的な事業成長

事業活動を通じて「3つの社会」を実現することで、社会の課題を解決し、持続的な事業成長を目指していきます。3つのマテリアリティは相互に関連しあい、「ITの、つぎの、幸せへ。」とつながります。

持続的な成長を支える基盤

ESGを主軸にした取り組みを加速させることで、SCSKグループの経営基盤を盤石にすると同時に、上部に位置する3つのマテリアリティの実現に向けた基盤をつくっています。

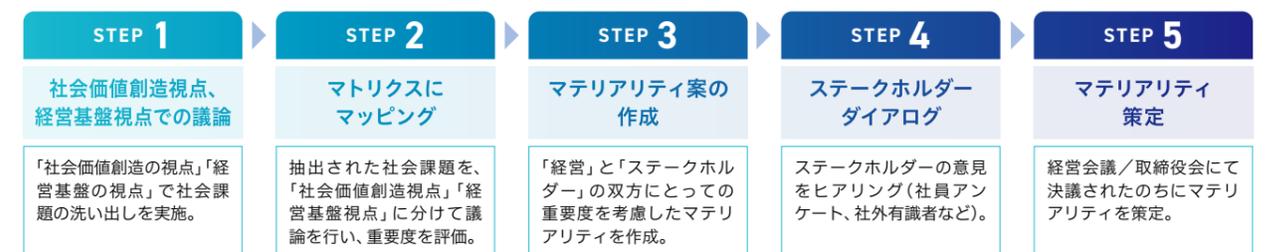
ITの、つぎの、幸せへ。

ITというものが別の言葉で表現されるようになるかもしれない未来においても、SCSKグループが人々の幸せを支え、持続的に成長し続けることを表しています。

マテリアリティごとの主な取り組みの事例

マテリアリティ項目	内容	主な取り組み	関連するSDGs
豊かな未来社会の創造	デジタル化がもたらす社会や産業への大きな変化を見据え、お客様やパートナーと共創しながら、社会課題解決に寄与する革新的な事業やサービスを通じて、快適で豊かな未来社会を創造します。	<ul style="list-style-type: none"> 「CO×COカルテ」 会計データ（総勘定元帳など）をアップロードするだけでCO₂排出量を算定できるクラウドサービス。 「Bank Savior」 詐欺の大口にスピーディーにそして柔軟に対応する総合口座取引モニタリングシステム。 「Dr2Go」 質の高い医療サービスの提供を実現し、次世代ヘルスケアの創造に貢献するサービス。 「SASEソリューション」 安全性の高い事業環境を迅速に提供するクラウド型ネットワークセキュリティサービス。 	8, 9, 10, 11, 17
安心・安全な社会の提供	さまざまなお客様やパートナーが業界の垣根を越えてつながりあう、強靱でかつ信頼できるビジネスプラットフォームを提供することで、日常生活や企業活動の質を高め、安心・安全な社会を支えます。		
いきいきと活躍できる社会の実現	地域や国を越えて事業を展開することで、当該地域の成長・発展に貢献し、人々が多様な個性を活かしながら、いきいきと活躍できるよりよい社会を目指します。		
地球環境への貢献	気候変動による事業への影響に適応すると共に、環境に配慮した事業活動の実践や事業機会の創出・拡大により、よりよい地球環境の実現に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス排出量削減目標と削減に向けた取り組み パートナー企業との温室効果ガス排出量削減の実践 TCFD/TNFD提言に基づく情報開示 環境パフォーマンスデータ 	7, 13
多様なプロフェッショナルの活躍	多様なスキル・経験を持つプロフェッショナルな人材が、価値観を共有し、多様性と専門性を活かしながら、活躍・成長し続けられる機会の提供・職場の実現に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> 能力・スキルを高める、活かす「事業戦略と人材ポートフォリオ」 能力・スキルを適切に評価し、成果に報いる「処遇・報酬制度」 価値創出につなげる「Well-Being経営」 多様性を尊重し活かす「ダイバーシティ&インクルージョン」 	3, 4, 5, 8
健全なバリューチェーンの確立	品質に加えて、環境や社会に配慮したバリューチェーンを確立することで高品質で安心・安全なサービスを提供し、お客様の持続可能な成長を支えます。	<ul style="list-style-type: none"> パートナー企業との連携を通じた品質・生産性の向上、健康経営導入の推進、契約業務効率化、情報セキュリティ・コンプライアンスの徹底、ワーク・エンゲージメント、ニアショア・オフショアの推進 「SCSKグループサプライチェーンサステナビリティ推進ガイドライン」の共有、人権尊重および温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みの推進 	8, 9, 17
透明性の高いガバナンスの実践	透明性を確保しつつ、コンプライアンスを遵守し、経営に対する実効性の高い監督を行うと共に、情報・リスク管理等に関する適切な管理体制を構築・実践します。	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ経営を実践するためのコーポレート・ガバナンス体制 役員報酬制度（報酬の基本方針、業績連動報酬の方針および指標） コンプライアンス遵守に向けた体制と取り組み 情報セキュリティ高度化に向けた取り組み、セキュリティインシデントへの対応 リスクマネジメント基本方針と具体的なリスク対策 サクセッションプラン 	10

マテリアリティ策定プロセス



マテリアリティの策定プロセスについてはこちら
<https://www.scsk.jp/corp/csr/materiarity/process.html>

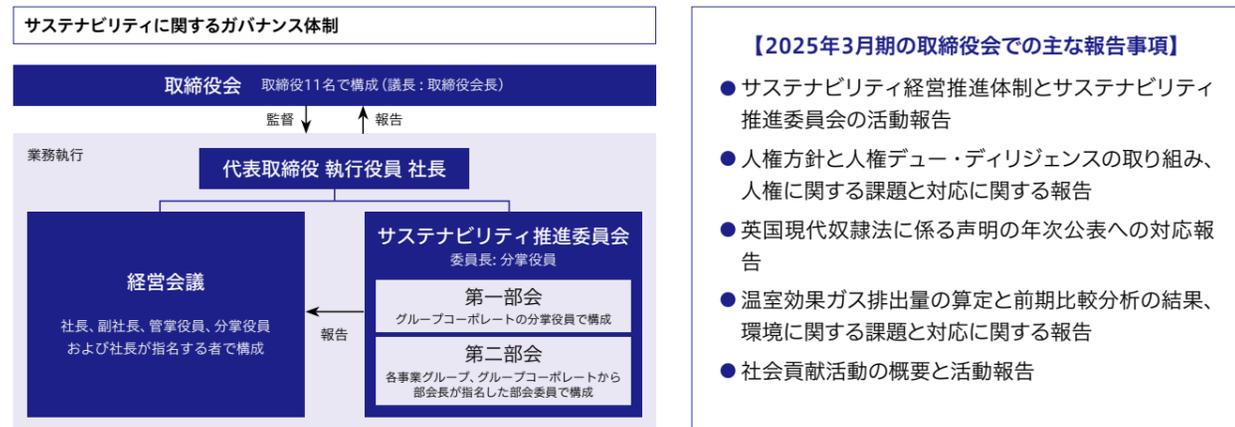


サステナビリティ経営の推進およびガバナンス体制

SCSKグループの成長戦略であるサステナビリティ経営の推進に関わる全社的課題、取り組むべき施策の確認や検討のため、代表取締役 執行役員 社長の諮問機関としてサステナビリティ推進委員会を設置しています。

サステナビリティ推進委員会は、分掌役員を委員長とし、第一部会と、第二部会から構成されています。

サステナビリティ推進委員会での検討内容は、定期的に経営会議に報告され、全社的な経営に係る観点でさらなる議論を行った後、サステナビリティ推進委員会から取締役会へ報告を行い、適切に監督される体制を整えています。



サステナビリティに関する各会議体の役割と実施状況

取締役会 (2回)	サステナビリティに関する重要事項および経営会議での議論内容について、定期的に委員会からの報告を受け、監督を行う。	
経営会議 (10回)	サステナビリティに関する重要事項など、定期的に委員会からの報告を受け、全社的な経営に係る施策について議論を行う。	
サステナビリティ推進委員会	第一部会 (4回)	サステナビリティに関する全社的な課題、取り組み施策の検討や確認を行う。検討した結果は、定期的に経営会議・取締役会へ報告を行う。
	第二部会 (12回)	サステナビリティ経営、マテリアリティの理解浸透・文化醸成に必要な事項の議論や検討を行うとともに、エバンジェリストとして自組織への浸透活動を推進する。

社外取締役メッセージ



社外取締役 山名 昌衛

企業の持続的な成長には、次の3つが欠かせないと考えています。存在意義の明確化、事業を通じて提供する社会価値（環境価値含む）を最重視する経営戦略、そしてそれらを差異化へと昇華させる現場の徹底力です。

SCSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」を浸透させ、デジタルオフライン事業への変革を通じて、社会的・環境的価値の創出に軸足を置いています。さらに、ネットワークシステムズ(株)との経営統合により、競争優位の確立に向けた差別化の磨き込みに一層邁進しようとしています。

また、これらの取り組みの源泉は「人財」の力であると考えており、SCSKグループが推進するWell-Being経営は、社員一人ひとりの輝きや働きがいを高めるとともに、利他の精神をもって周囲を巻き込み、価値創造への共感力を増幅させています。

これらの継続的な取り組みに大いに期待するとともに、社外取締役として、攻めのリスクテイクを後押ししてまいります。

サステナビリティ推進委員会の活動内容

サステナビリティ推進委員会 第一部会

第一部会は、分掌役員が部会長を兼任し、部会委員はグループコーポレートの分掌役員で構成されています。サステナビリティ経営の実践に向けて、国際的なサステナビリティに関する動向などの情報収集を行うと共に、SCSKグループが優先的に取り組む課題であるマテリアリティに関する施策の実施状況や不足事項を確認し、中長期的な視点で取り組むべき課題について議論し、施策の検討を行っています。

【2025年3月期の第一部会での主な検討テーマ】

- サステナビリティに関する国際的な情報開示基準および有価証券報告書での非財務情報の開示拡充に向けた確認
- ESGに関連する取り組み不足事項と対応方針の確認
- パートナー企業の「SCSKグループサプライチェーンサステナビリティ推進ガイドライン」への賛同状況の確認
- 人権デュー・ディリジェンスと人権尊重に向けた各種取り組み施策の実施状況の確認
- 「SCSKグループ AI基本方針」の策定
- 英国現代奴隷法に係る声明公表に向けた対応の確認
- 温室効果ガス排出量削減に係る取り組みと進捗の確認

サステナビリティ推進委員会 第二部会

第二部会は、事業グループの執行役員が部会長を担当し、部会委員は、各事業グループおよび各グループコーポレートの役職員から選出しています。SCSKグループの成長戦略としてのサステナビリティ経営の理解浸透および文化醸成に向けて、部会委員は勉強会やディスカッションを通じてサステナビリティに関する理解を深め、自らがエバンジェリストとなる活動を行っています。また、より多くの役職員が理解、実践できるように自組織に合った浸透施策の実施および改善に向けた検討を行っています。

【2025年3月期の第二部会での主な実施事項】

- サステナビリティ経営・マテリアリティの理解と自分事化に向けたインプットとワークショップ
- 自組織への浸透に向けた課題の確認と効果的な浸透施策の実施や改善に向けた検討
- 理解浸透に向けた取り組みや課題について、部会委員と会長とのディスカッション
- 活動結果と今後の浸透活動について社長、経営層への報告および意見交換会の実施

Topic サステナビリティ推進委員会 第二部会 部会委員による自組織での展開活動

モビリティ事業グループでは、組織ミーティングやリレートークなどの浸透施策を実施しました。組織や役割の垣根を超えた対話を重ねていくことで、サステナビリティへの興味・関心や新たな気付きが参加者に伝播していく様子を目の当たりにしました。また、参加者の80%以上が、「以前より理解・共感が深まった」と回答しており、対話の効果も実感できました。

第二部会の活動を通じて、お客様と協働し安心・安全なクルマ社会を実現するためには、サステナビリティ経営の「自分事化」をグループ全体で継続的に促進していくことが必要不可欠であるということを再認識しました。日々の業務が環境問題や社会課題の解決に貢献している自覚と誇りを持つ組織づくりに、エバンジェリストとして今後も寄与してまいります。

モビリティ事業グループ
モビリティシステム第一事業本部
システム第四部 第三課
木嶋 直美



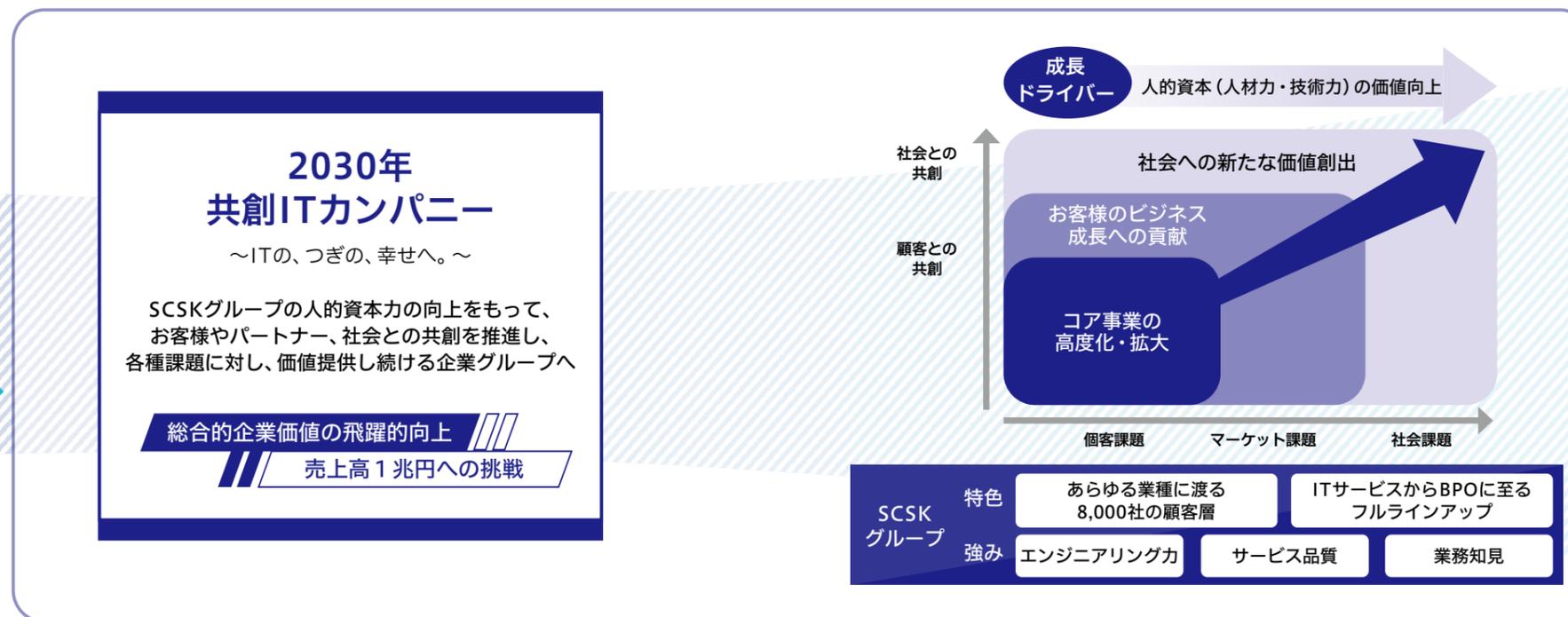
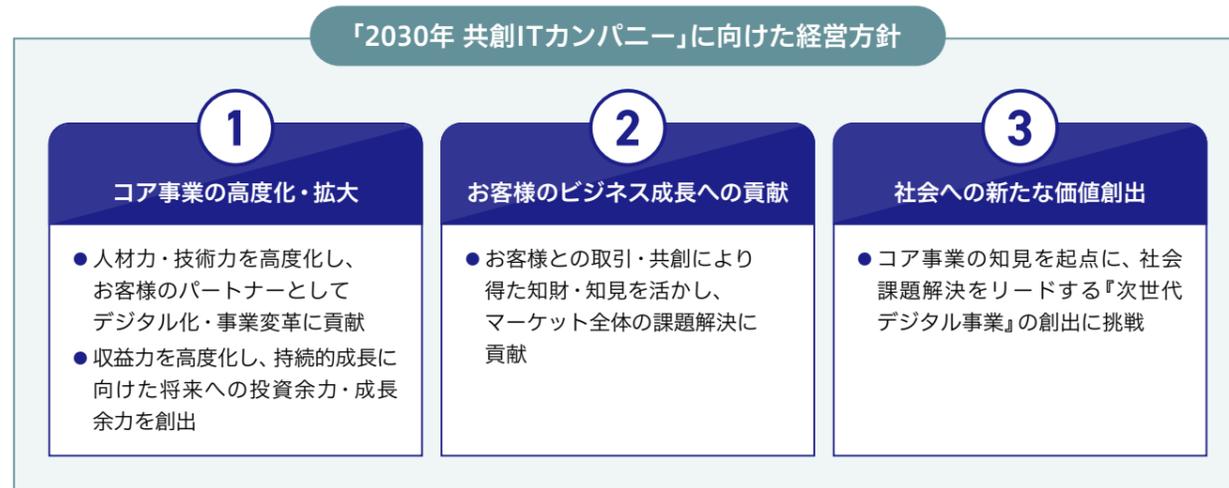
金融事業グループでは、約1,600名のメンバーが一丸となってサステナビリティ推進施策に取り組みました。活動を通じてサステナビリティへの理解が深まっただけでなく、メンバー間の活発な議論により、業務に取り組む意義を再認識する機会となりました。その結果、日々の業務におけるコミュニケーションも円滑になったと実感しています。私自身にとっても、委員会のメンバーや部長の協力を得ながら進めたこの活動は、プロジェクト推進力を高める貴重な成長の機会となりました。周囲を巻き込むには、自らが強い意志を持って発信し続けることが重要であり、その姿勢が共感を生み、支援の輪が広がることを実感しました。会社全体の取り組みに貢献できたことは大きなやりがいであり、今後も連携を深めながら、サステナビリティ活動に力を注いでいきたいと考えています。

金融事業グループ
金融システム第四事業本部
営業部 第一課
金田 愛美



SCSKグループは、経営理念を実践するにあたり、社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を「マテリアリティ」として2021年3月期に策定しました。併せて、経営理念とマテリアリティをSCSKグループの存在意義とした上で、中長期の目指す姿として「グランドデザイン2030」を策定しました。グランドデザイン2030では、お客様やパートナーとともに社会課題の解決に貢献するビジネスを創り出すことによって、「2030年 共創ITカンパニー」の実現を目指しています。

目指す姿の実現に向けて、SCSKグループの本質的な企業力を向上すべく、経済価値と社会価値、人的資本価値等の非財務要素を包含した企業価値である“総合的企業価値”の飛躍的な向上を図るとともに、従来とは非連続な価値創出を前提に社会課題の解決をリードする一流の会社を目指すことを意図する「売上高1兆円への挑戦」を掲げ、具体的な実現へのステップである中期経営計画に取り組んでいます。



事業を通じた価値創造

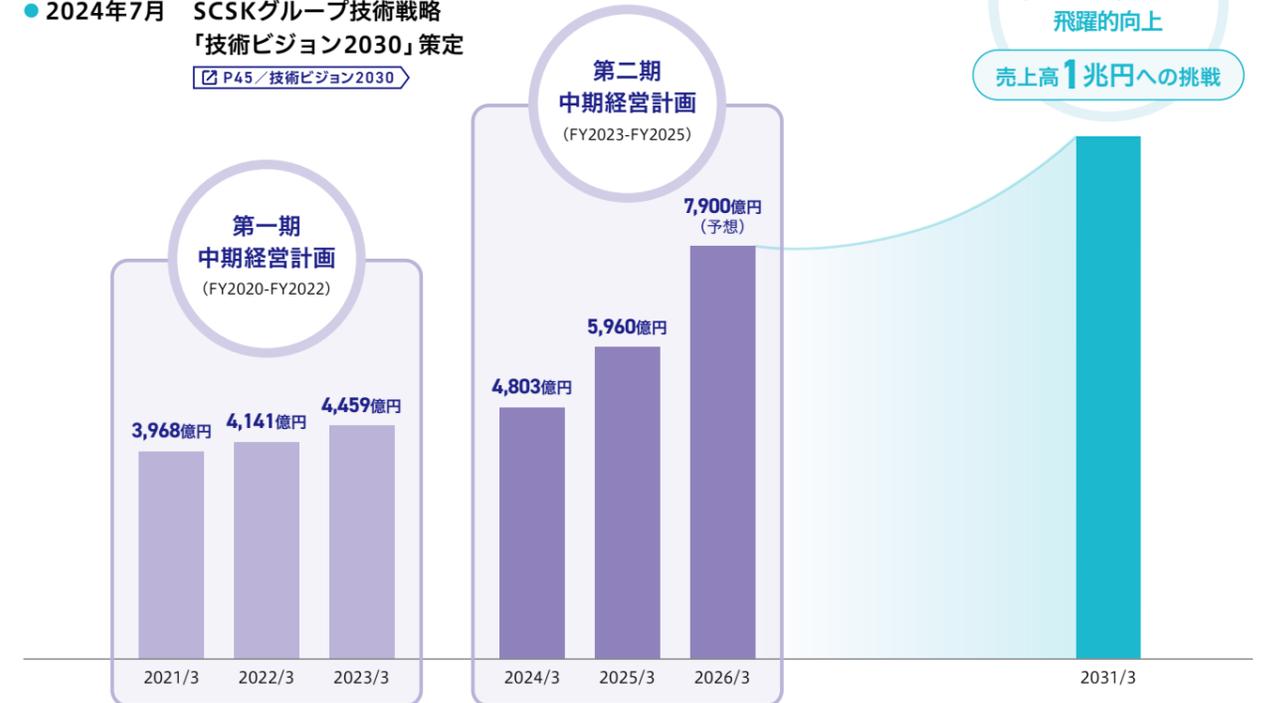
社会との共創

顧客との共創

2030年に向けたタイムライン

2030年 共創ITカンパニー ～ITの、つぎの、幸せへ。～

- 2020年4月 グランドデザイン2030策定
- 2024年7月 SCSKグループ技術戦略「技術ビジョン2030」策定
P45 / 技術ビジョン2030



Toward2030
“総合的企業価値”の
飛躍的向上
売上高1兆円への挑戦